

アジャタ

(国スポ・デモスポ)

競技説明

運動会などで一度は体験したことがある、「玉入れ」がタイムトライアルスポーツになった競技です。競技名の由来は、全日本玉入れ協会（All Japan Tamaire Association）の頭文字から「AJTA」と命名されました。

全100個のボールを制限時間内にカゴに入れる競技になるが、ボールの積み方、投げ方の技術や息ぴったりのチームワークが勝敗のカギとなります。日本記録はなんと6秒51です！

カゴまでの高さは4m12cm。これは、協会地（北海道和寒町）の最低気温-41.2℃が由来となっています。また、カゴの直径深さは44cm。これも協会地の北緯44°が由来となっているそうです。

※デモスポ競技でのカゴの高さは一般の部4m12cm、多世代の部は3m50cmで行います。

ルール

4～6名の選手がアジャタボール99個、アンカーボール1個の計100個のボールをかごに入れるまでのタイムを競う競技です。まずは、アジャタボール99個を先にカゴに入れ、最後にアンカーボールを入れたタイムが早いチームが勝利となります。

ボールの積み方には、俵積みや三本配などがあり、一度に複数のボールを投げる際には、拝み投げ、下手投げ、片手投げなどの投球方法で投げ入れます。デモスポ限定のルールとして、5分間にすべてのボールを入れ終えていないチームは記録なしとなります。